



Electronics for the Future

業績説明 2026年度 第1四半期

ローム株式会社

代表取締役社長 東 克己

2026年8月5日

【参考】5月発表通期計画 (単位：億円)

	FY2026 1Q実績		YoY	QoQ	FY2026 通期計画		YoY
売上高	1,357	-	+16.8%	+21.6%	5,100	-	+6.0%
営業利益	96	7.1%	+4,825.6%	+729.7%	300	5.9%	+176.1%
純利益	90	6.6%	+203.6%	-	290	5.7%	-
期中平均レート(¥/US\$)		(160.51円)			(153.53円)		

FY2026 1Q 業績

(YoY) 金価格の高止まりにより変動費負担の増加があったものの、売上増や為替の円安効果もあり、前年度のブレイクイーブンから営業利益は改善。

(QoQ) 市場環境の改善により需要は旺盛であったが、一部在庫出荷で対応し、在庫影響はネガティブに寄与。しかし、売上増や償却負担減の効果により、営業利益は増加。

今後の在庫・稼働方針

製品在庫の圧縮は完了。今後は需要増に合わせて稼働率を引き上げる方針。仕掛品・原材料の圧縮は継続して進めていく。

SiC事業改善の進捗

自動車向けを中心に順調に推移。FY25末に発生した歩留まり低下の影響が一部継続したものの、6月に解消。2Q以降は収益性改善を見込み、通期計画に変更はない。

AIサーバーの進捗

Siパワーデバイスを中心に好調に推移しているものの、想定を超える需要増加により、生産キャパシティを超える受注状況。生産ラインの切り替えやリソースの集中、増産投資を行い、今後更に加速する需要に応えていく。

事業・経営統合の進捗

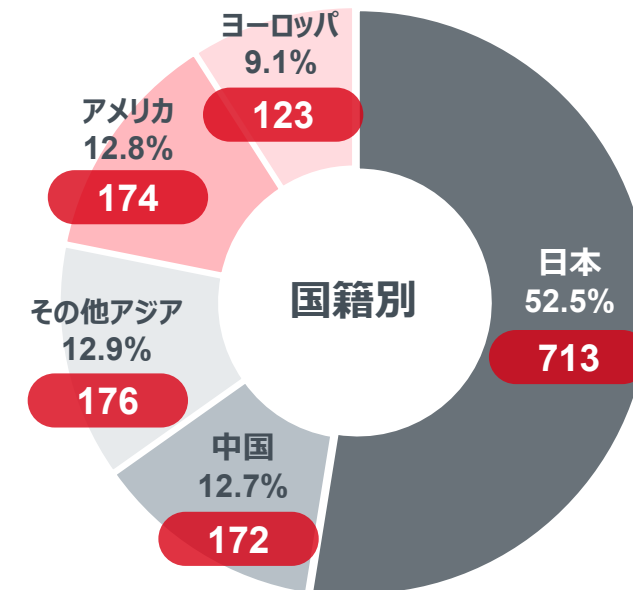
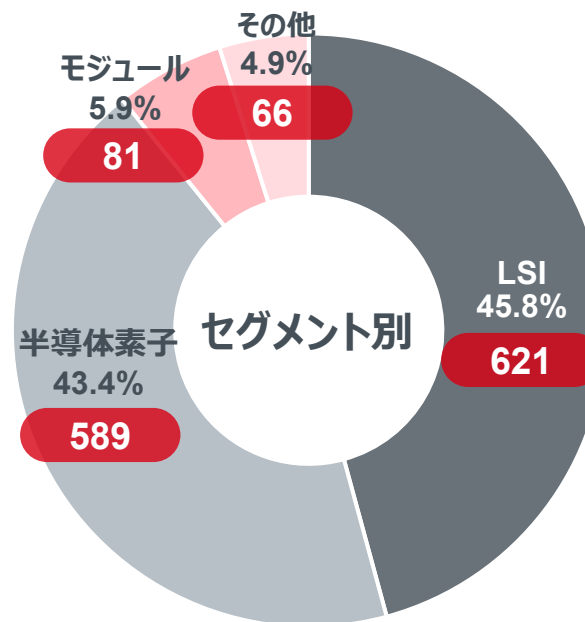
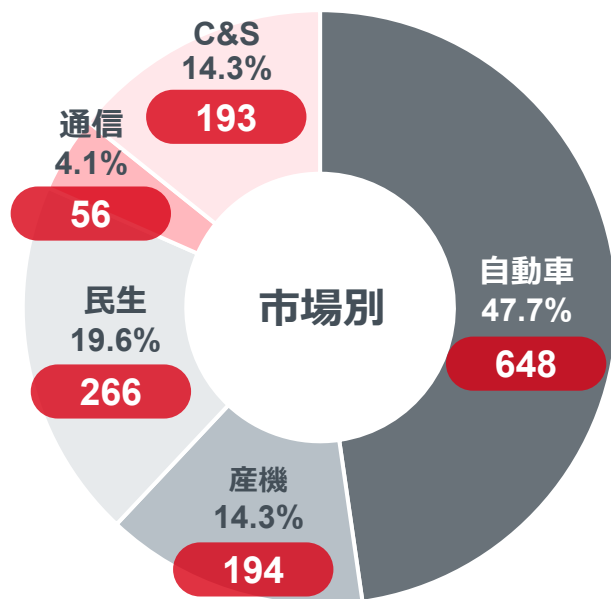
東芝D&Sの半導体事業との統合に向けてDDを実施中。三菱電機パワーデバイス事業との統合に関しても、並行して協議中。

[FY2026 1Q] 売上構成比

FY2026 1Q

1,357億円 YoY +16.8% QoQ +21.6%

(単位：億円)



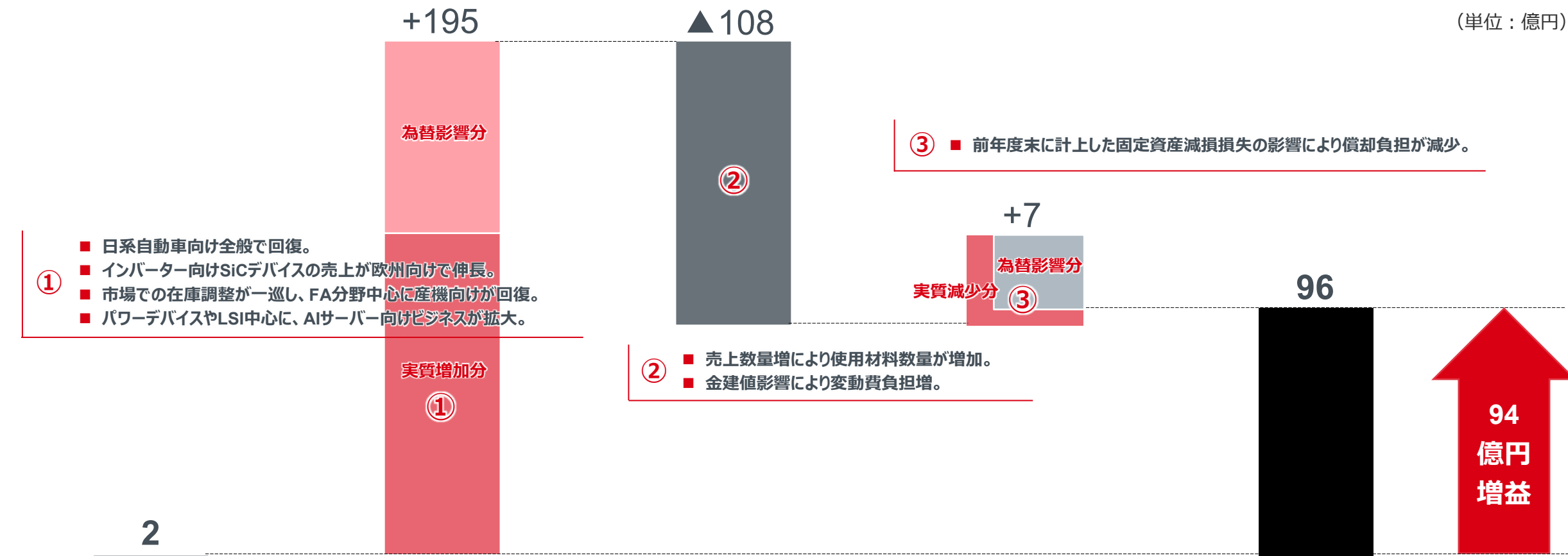
市場	YoY		QoQ	
自動車	+20.2%		+12.3%	
産機	+32.6%		+26.0%	
民生	▲6.3%		+32.1%	
通信	+26.4%		+43.0%	
C&S	+30.4%		+33.4%	

セグメント	YoY		QoQ	
LSI	+13.3%		+26.7%	
半導体素子	+25.2%		+19.2%	
モジュール	+1.0%		+21.0%	
その他	+4.5%		+1.6%	

国籍	YoY		QoQ	
日本	+15.9%		+19.7%	
中国	▲11.5%		+30.7%	
その他アジア	+47.6%		+41.0%	
アメリカ	+29.2%		+25.8%	
ヨーロッパ	+23.8%		▲2.6%	

[FY2026 1Q] 営業利益 増減分析 (YoY)

(単位：億円)



**FY2025 1Q
実績**
(145.19円/US\$)

売上増加	+195
為替影響	+73
実質増加	+122

市場別内訳

自動車	+109	通信	+12
産機	+48	C&S	+45
民生	▲18		

材料費及び 在庫の影響	▲108
材料費	▲143
在庫の影響	+35

固定費の減少	+7
為替影響	▲27
実質減少	+34

製造原価

労務費	▲18
償却費	+39
経費	▲20

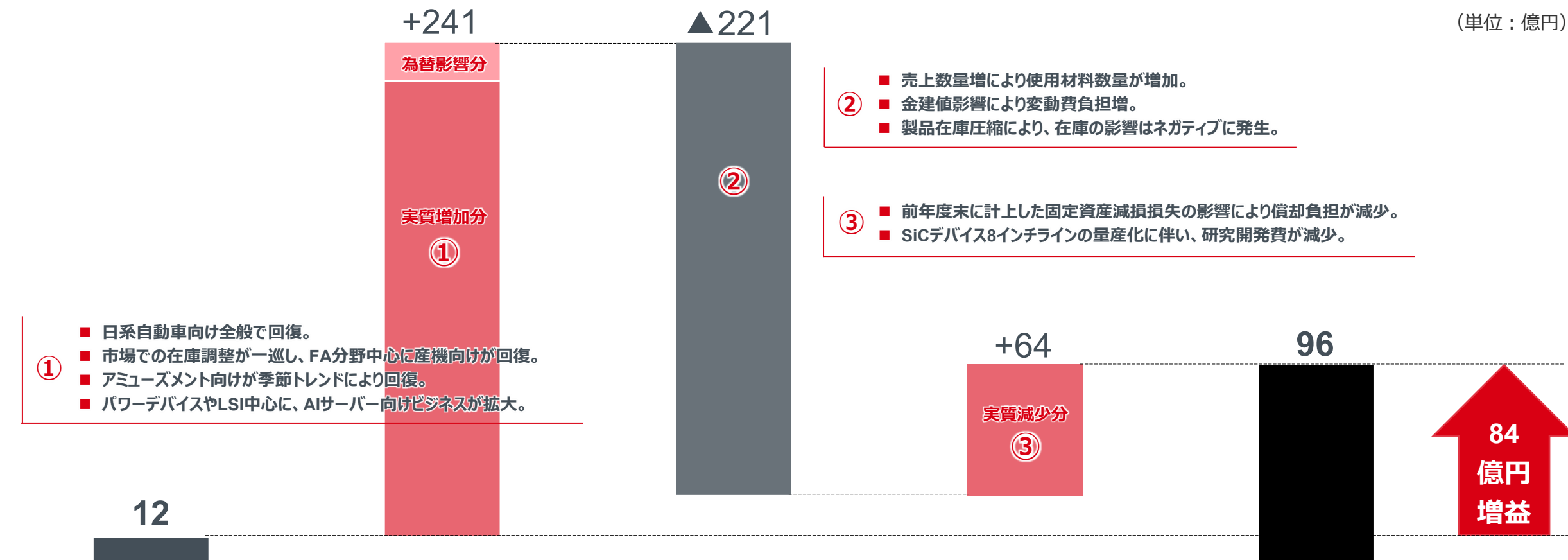
販管費

研究開発費	+12
その他	▲6

**FY2026 1Q
実績**
(160.51円/US\$)

[FY2026 1Q] 営業利益 増減分析 (QoQ)

(単位：億円)



**FY2025 4Q
実績**
(156.48円/US\$)

売上増加	+241
為替影響	+19
実質増加	+222

市場別内訳

自動車	+71	通信	+17
産機	+40	C&S	+48
民生	+65		

材料費及び 在庫の影響	▲221
材料費	▲120
在庫の影響	▲101

固定費の減少	+64
為替影響	▲1
実質減少	+65

製造原価

労務費	▲14
償却費	+61
経費	▲19

販管費

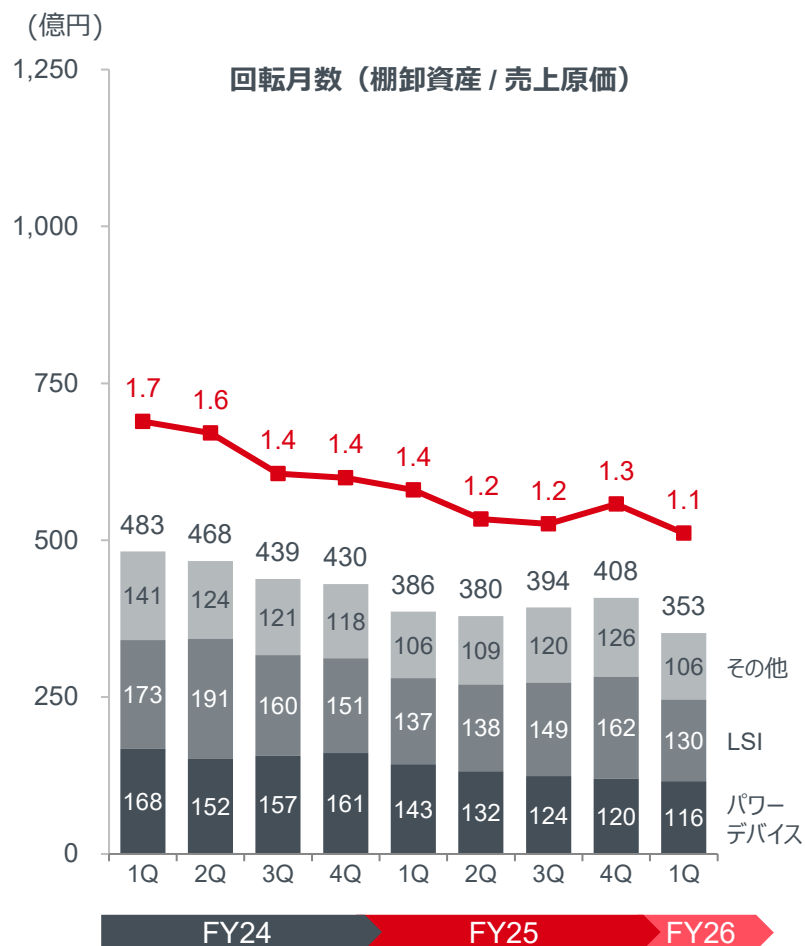
研究開発費	+29
その他	+7

**FY2026 1Q
実績**
(160.51円/US\$)

在庫の状況

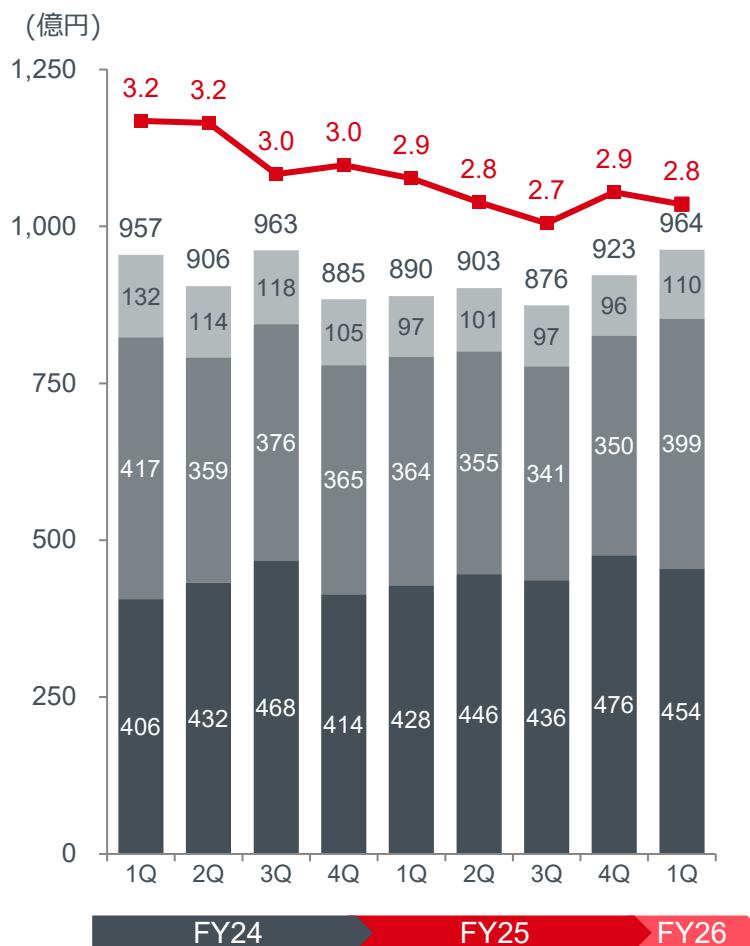
■ 商品及び製品

在庫調整は完了。今後は現状水準を維持しつつ、需要に合わせ増産していく。



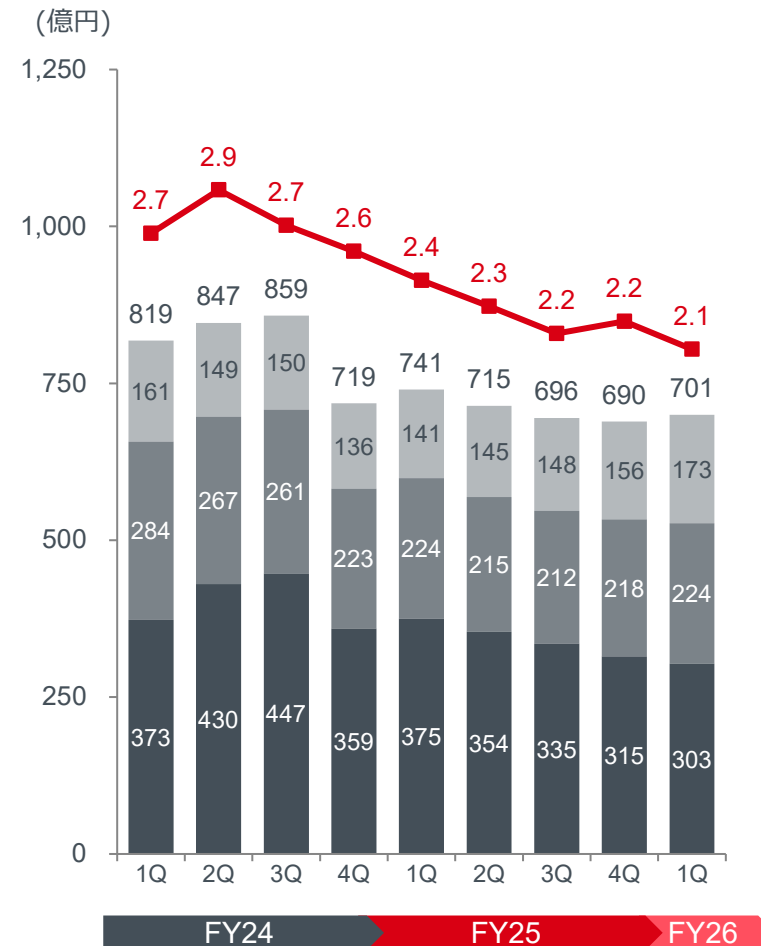
■ 仕掛品

生産リードタイムの短縮により、段階的に工程内在庫の圧縮を進める。

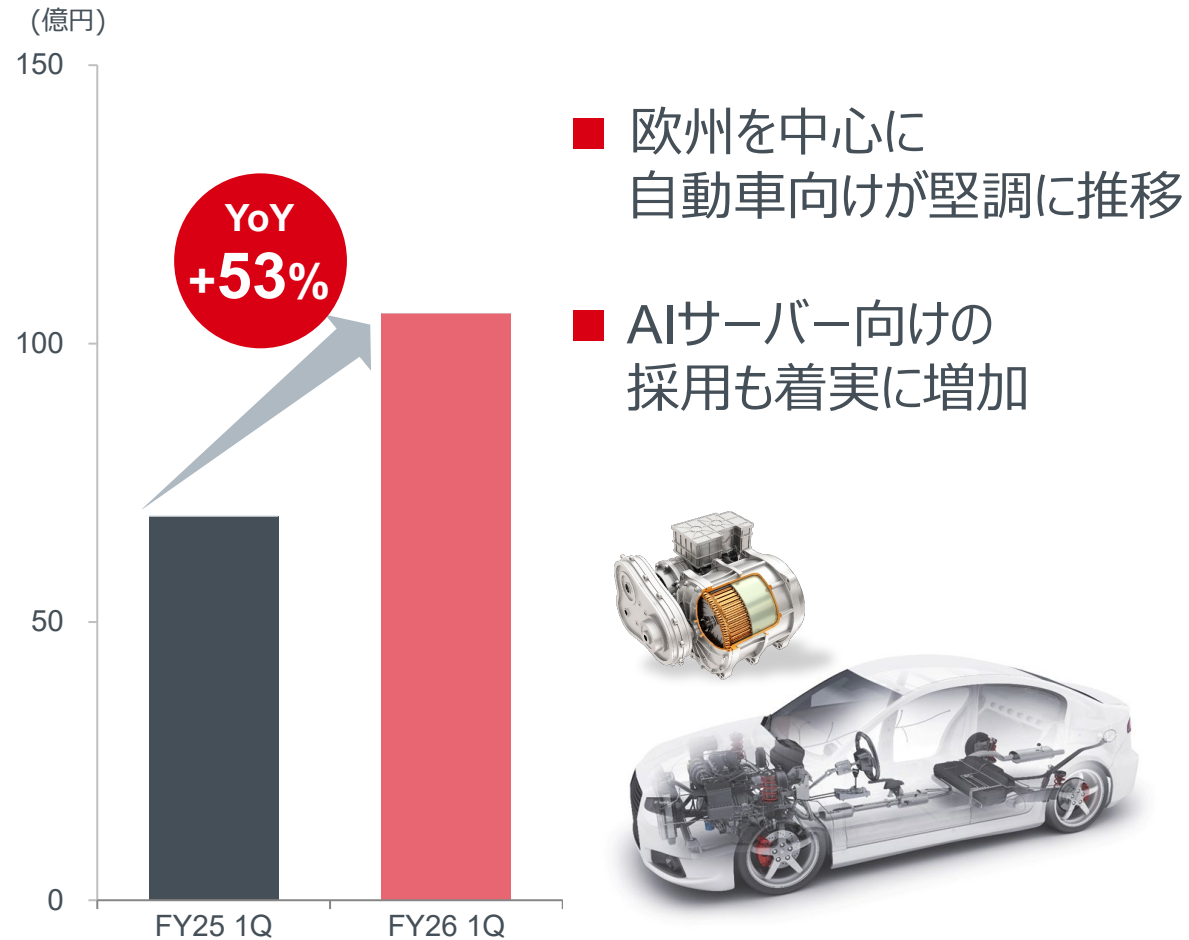


■ 原材料及び貯蔵品

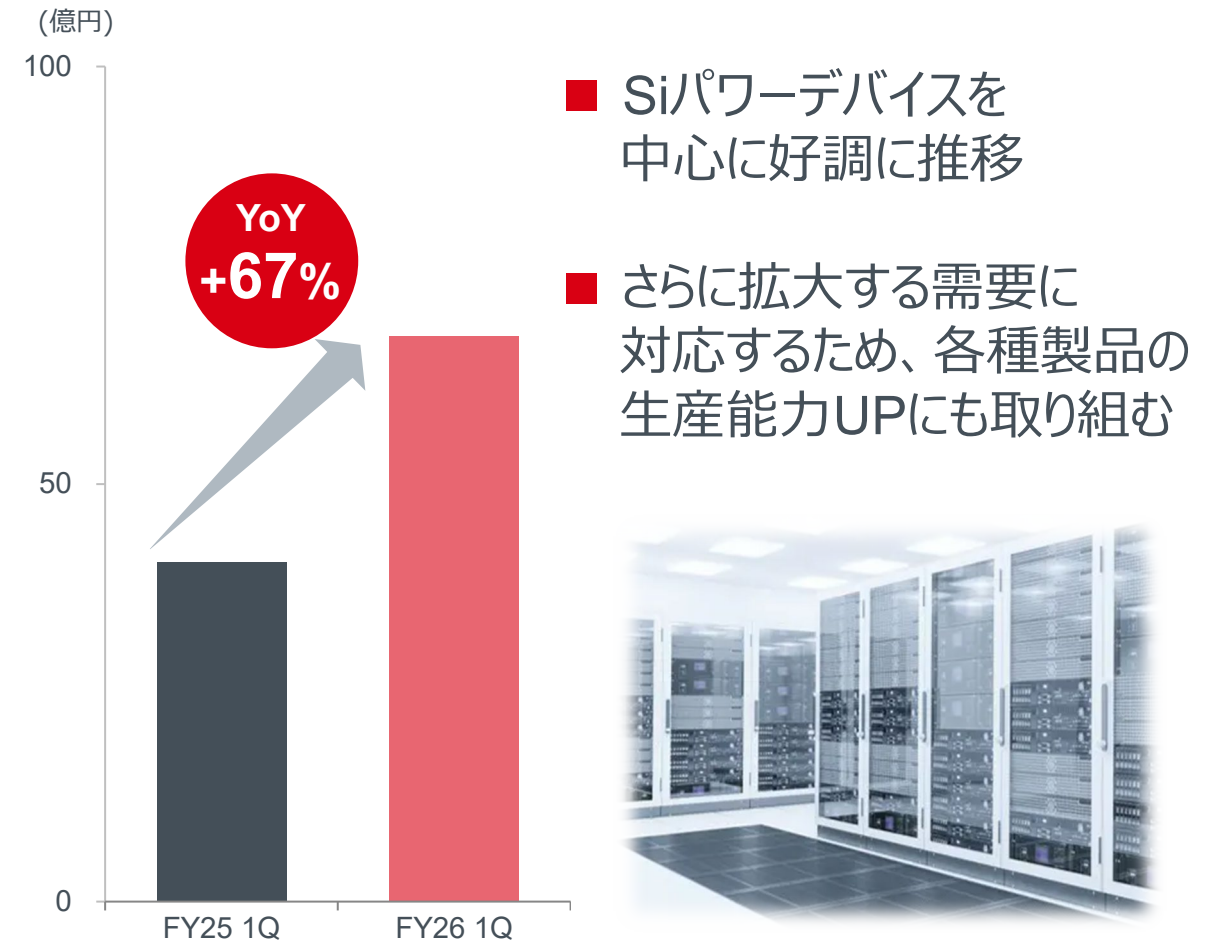
LTAによる購入量を縮小し、新規購入量を抑制。現存在庫を確実に消費し圧縮を進める。



SiC事業



サーバー向け



＜ご注意事項＞

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2026年度通期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。

＜お問い合わせ先＞

ローム株式会社 IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
E-mail : ir@rohm.co.jp



Electronics for the Future

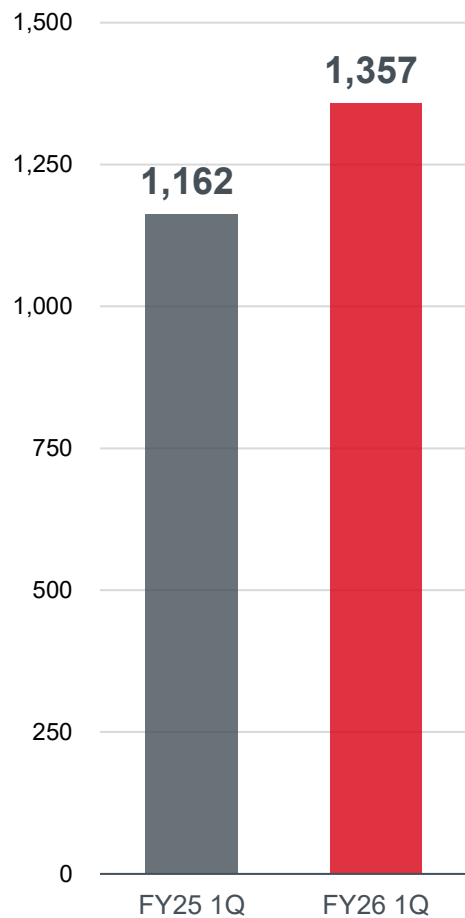
補足資料

[FY2026 1Q] 市場別売上の変動要因 (YoY)

(単位：億円)

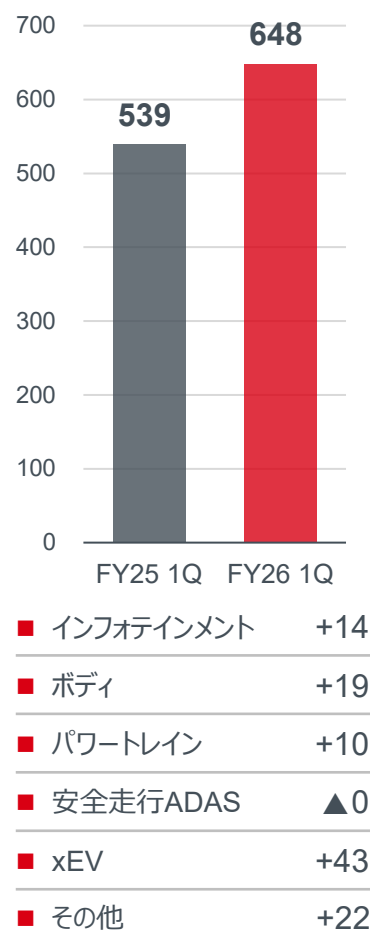
四半期売上高

+16.8%



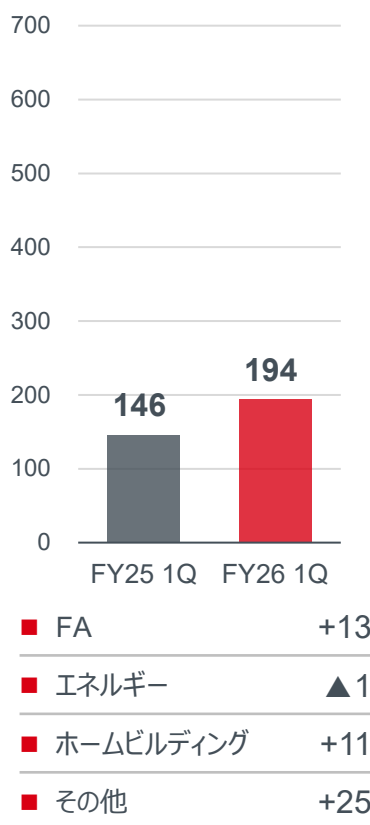
自動車

+20.2%



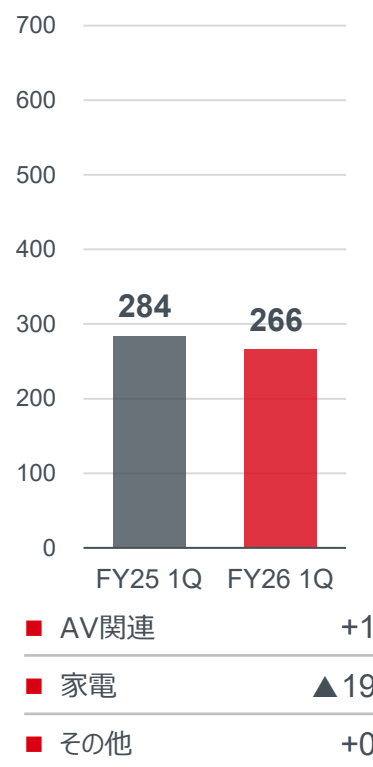
産機

+32.6%



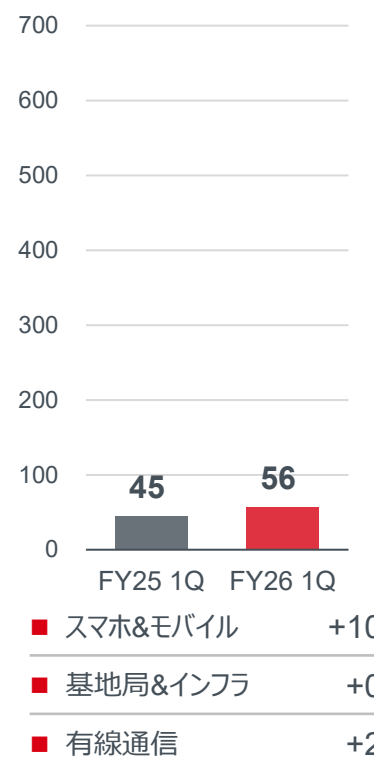
民生

▲6.3%



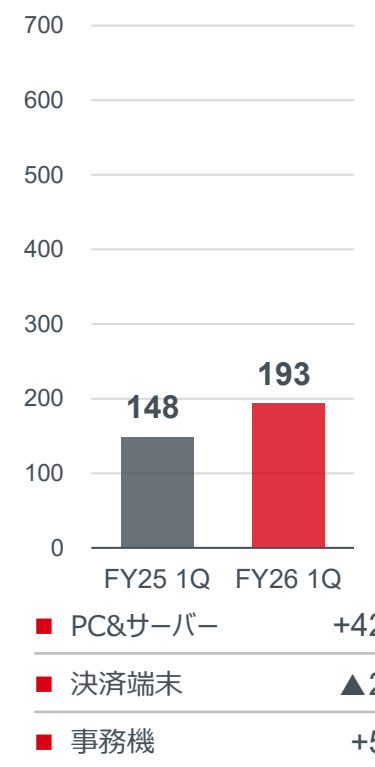
通信

+26.4%

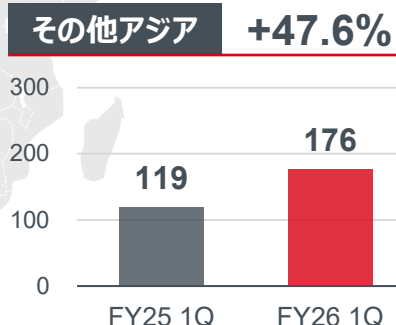
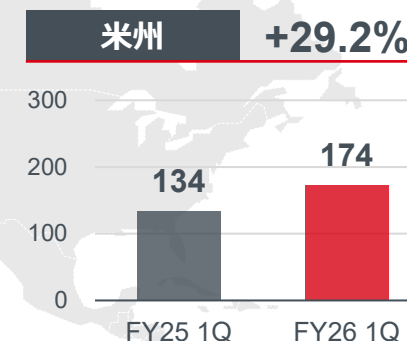
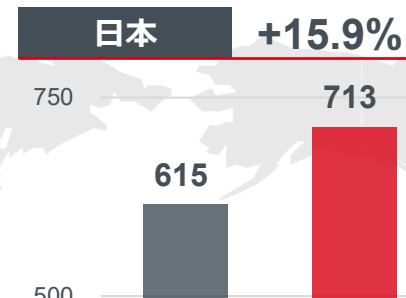
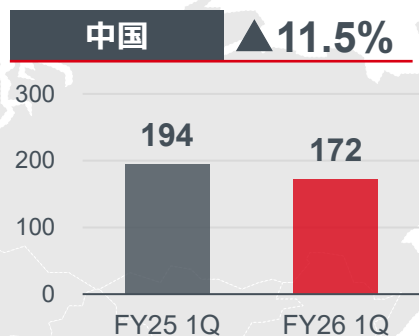
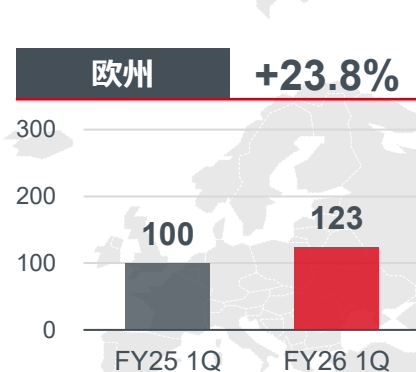


コンピュータ & ストレージ

+30.4%



[FY2026 1Q] 国籍別売上の変動要因 (YoY)



※取引先企業の国籍別売上を集計 (単位: 億円)

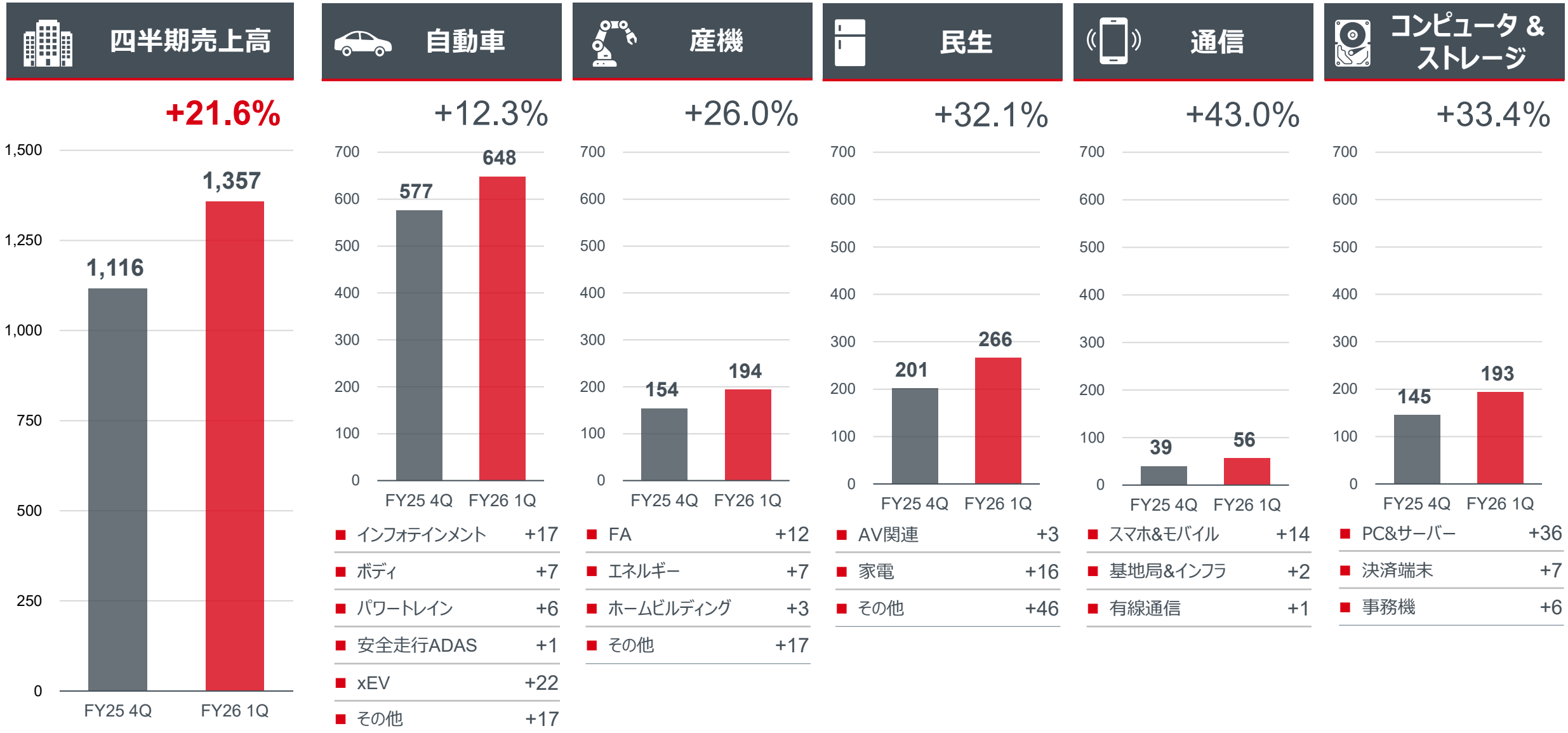
[FY2026 1Q] セグメント利益 (YoY)

(単位：億円)

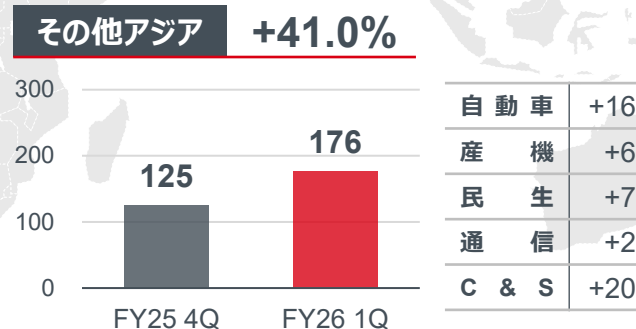
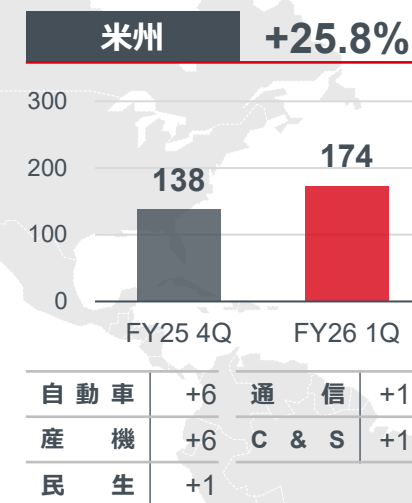
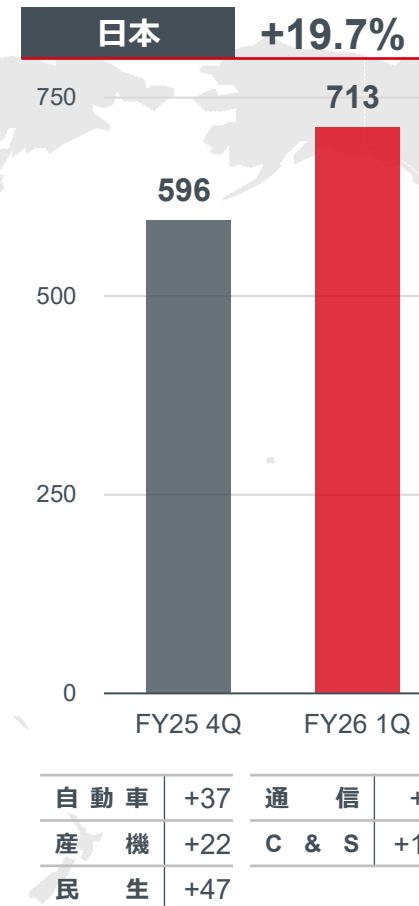
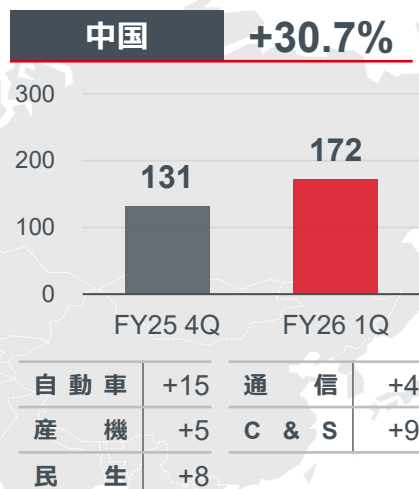
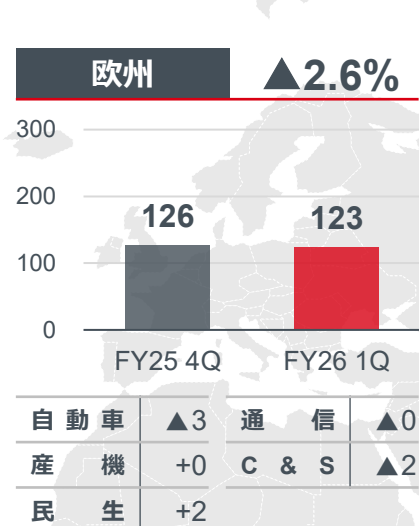
		FY2026 1Q 実績	FY2025 1Q 実績	増減額	増減率
LSI	売上	621	548	+73	+13.3%
	セグメント利益	73	43	+30	+69.0%
	(利益率)	(11.8%)	(7.9%)	-	-
半導体素子	売上	589	471	+118	+25.2%
	セグメント利益	▲9	▲63	+54	-
	(利益率)	(▲1.6%)	(▲13.3%)	-	-
モジュール	売上	81	80	+1	+1.0%
	セグメント利益	10	9	+1	+18.1%
	(利益率)	(12.6%)	(10.8%)	-	-
その他	売上	66	63	+3	+4.4%
	セグメント利益	9	10	▲1	▲11.3%
	(利益率)	(13.7%)	(16.1%)	-	-

[FY2026 1Q] 市場別売上の変動要因 (QoQ)

(単位：億円)



[FY2026 1Q] 国籍別売上の変動要因 (QoQ)



※取引先企業の国籍別売上を集計 (単位: 億円)

[FY2026 1Q] セグメント利益 (QoQ)

(単位：億円)

		FY2026 1Q 実績	FY2025 4Q 実績	増減額	増減率
LSI	売上	621	490	+131	+26.7%
	セグメント利益	73	46	+27	+59.1%
	(利益率)	(11.8%)	(9.4%)	-	-
半導体素子	売上	589	494	+95	+19.2%
	セグメント利益	▲9	▲62	+53	-
	(利益率)	(▲1.6%)	(▲12.6%)	-	-
モジュール	売上	81	67	+14	+21.0%
	セグメント利益	10	5	+5	+98.7%
	(利益率)	(12.6%)	(7.7%)	-	-
その他	売上	66	65	+1	+1.6%
	セグメント利益	9	8	+1	+17.1%
	(利益率)	(13.7%)	(11.9%)	-	-